



熊本大学教授
ガールスカウト熊本県会長
県知事
熊本県農協中央会長
熊本県経済同友会地域開発部長

郎子 精泉 彰
一慶 一 輝
田 藤 田 本 井
有 佐 沢 杉 藤

出席者（写真左から）

激動の年、変革の年といわれることしの熊本は、世界の動き、日本の動きの中にあつてどうしていけばよいのか。新春にあたり沢田知事を囲んで四人の方々にお集まりいただき、ことしはこんな年にしたいと大いに語ってもらいました。

有田 きょうは「ことしはこんな年」ということで知事さんをはじめ各界のかたがたにお集まりいただきました。大いに新春の放談をしていただきたいと思えます。まず、知事さんからことしの抱負を。

知事 ご承知のとおり時代の移り変わりが非常に激しい激動の年、変革の年と言われております。

新しい時代にふさわしい清新にして鋭刺たる県政を、決意を新たに展開してまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

有田 県の実情といえますと非常にオーバーでございますけれども、大きな転換があるような胎動を昨年から感じていたわけでございます。後で皆さんとお話し申しあげたいと思っておりますけれども、そういう意味の胎動をどういう方向でつかんでいこうかと、すこし抽象的ではございますけれどもそのような予感がいたしているのでございます。

佐藤 社会福祉が最近とりあげられて参

りましたけれども、ことしはその充実ということ、少年少女の教育ということに大きな期待をもちたいと思っております。

杉本 私は、農業にとりましては農政の大転換の年であろうということで決意を固めております。転換をどうするかということにつきましては、まず、県が昨年来慎重にご審議いただいております農業団地の構想を移行するときであろうと思っております。そのためには農協の組織を強化し、体質を改善しなければ対応出来ないわけですが、したがって、農協は町村を越える大型農協になすべきであろうということ。更に農家所得をふやして農家の方々が安心出来るためにはこれは知事さんにもお願いしなければなりませんけれどもどうしても就業の機会をふやす必要がある。いわば公害のない工場を誘致していただく。それによって農家からの出稼ぎも合わせて防止するというところに踏み切るべきではないかという考えをもちたいと思っております。

基本的な考え方でございます。

福祉行政に重点

有田 佐藤さんご婦人の立場から、知事さんとお話しになりました生活中心あるいは消費者中心という考え方について、具体的にはどのような要求を今年はしていきたいと考えておられますか。

佐藤 それは何年も前からいわれどきですが、物価の安定ということ。主婦とつかないかと思っております。それと同時に私は子供達の教育だと思っております。「三つ子の魂百まで」とよく言われますけれどもあの時期の子供達から、小学生の子供達までもう少ししっかり教育していくべきだと思っております。そういう意味で、私ガールスカウトでやっておりますけれども将来母親となるような少女達が立派な基礎的な教育を受けて育ってほしいと念願しております。

有田 知事さん青少年問題あるいは老人問題については相当予算も組まれているように思いますが、

知事 まだまだ充分ではございませんけれども社会福祉の問題とくに老人対策がひとつの大きな眼目になるべきだろうと思っております。それは身体不自由者、特に子

藤井 個人といたしましては会社の仕事を一生懸命やるということにつきると思っておりますけれども、経済同友会としましては有田先生がおっしゃいましたようにことしは大きな波がくるのではないかと思っています。

ひとつは、九州縦貫道が十月には鳥栖まで開通しますし、こうした交通通信網の発達で熊本経済にどういうインパクトを与えるか、地域開発部長といたしまして本場に経済同友会の中で大いに議論すべき時期がことしではないかというふう

地域開発と人間生活の調和へ

有田 実は、先程ことしは大きな胎動があるだろうと抽象的に申しましたけれども、従来四～五年続いた高度成長の余波というものが昨年から例えば公害問題その他の問題を誘発しておるわけでございます。しかし一方では依然として地域開発が進行しておる。いま、藤井さんがおっしゃいましたように縦貫道路、高速鉄道、その他のものが徐々にではあるけれども進行している。これからどういふうに県政の方向づけをしていくのかというところについて非常に大きな疑問と申しますか、わからない点がありますので知

りに痛感しているわけですが。

知事 私は、県政を進めて参ります責任者として皆さん方の本年にかけの期待あるいはご指導、お叱り、いろんなものを受ける立場にあるわけでございますので、きょうは折角の機会でございますから忌憚のないご意見をお聞かせいただくなり、あるいは県政に対するお尋ねをいただくなり自由に受け賜わりたいと思っております。あとの進行役を有田先生にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

事さんからそのへんを中心にお話しいただいて、そのあと皆さんからのご意見なり主張をいただきたいと思っております。

知事 先程も申しあげましたし、今、有田先生からもおっしゃったわけですが、いわゆる変革の年、激動の年だと思っております。高度経済成長一本ヤリで進んで参りました日本の社会が大きな転換をすべき年になってきた。これは都市の過密の問題、それに対応する農村における過疎対策の問題もござります。あるいは公害の問題もござります。要するに経済成長よりも人間生活優先、あるいは、人